

コンクリート躯体防水剤

太平洋 **NN**



**NN**

# 「太平洋NN」は数々のすぐれた特性をもち、メリットを提供します。

## コンクリート躯体防水剤+ポンパビリティー改良剤

一年を通して雨が多く湿度が高い国、日本。私たち人間と違って、躯体の調節機能をもたない建築物の基礎や壁は、ともすれば痛められ、健康をそこないがちでした。特に、湿気の高い場所や、地下部分のモルタルやコンクリートは漏水および表面の白華、色あせなど耐久性が大きな問題となっていました。

昭和31年、先進の技術を誇る当社が、すぐれた特性をもつモルタル、コンクリート用防水剤「太平洋NN」を開発しました。そして今、「太平洋NN」のすぐれた特性は広く海外でも認められ、多方面で幅広く活用されています。

「太平洋NN」が建築物の躯体を、日本でそして世界で、今日も守りつづけているのです。

### 特長

#### 1 高い防水性

粒子径は0.2~1.0 $\mu$ で、一般のパラフィンエマルジョンと比べて、著しく粒子が小さいため分散がよく、モルタル、コンクリートの毛細管に充填して、撥水性とともに高い防水性をあらわします。

#### 2 ブリーディング防止

ブリーディングを極めてすくなくし、特に垂直方向のモルタルグラウトにはモルタルの沈降防止にすぐれた効果をあらわします。

#### 3 ポンパビリティーの改善

パラフィンの作用により流動性が増し、ポンプの負荷が軽減して、圧送がきわめて容易になりますので、打設時の作業性向上に大きく役立つと同時に型枠への充填が良いので、すぐれた成型性が得られます。

#### 4 すぐれた分散性

0.2~1.0 $\mu$ の微細なパラフィン系エマルジョンの液体なので、コンクリートへの分散効果が高く、均一な防水コンクリートが得られます。

#### 5 取扱いが簡単

固形パラフィンを主成分とするエマルジョンタイプの液状防水剤ですので投入管理・混練が容易にできます。

#### 6 すぐれた白華防止

一般的にコンクリート二次製品は、表面の吸水乾燥のくり返しによって内部のCa(OH)<sub>2</sub>分が徐々に表面に遊離し、色が白くあせたり、“はなだれ”のような白華を生じやすいものです。「太平洋NN」を使用したコンクリート二次製品は、吸水率が少なく、特に表面の撥水性が強いため白華の発生を強力に防ぐとともに、長期を経過しても色あせすることがありません。

### 用途

コンクリート躯体防水  
(地下構造物・上下水処理築場構造物・陸屋根・拡大スラブ等)

- 一般モルタルの防水
- 防水ブロック
- PSコンクリート、プレハブなどのモルタル注入工法
- セメント二次製品の防水、白華防止

### 荷姿

- 18kg/缶
- 200kg/ドラム缶

### 使用方法

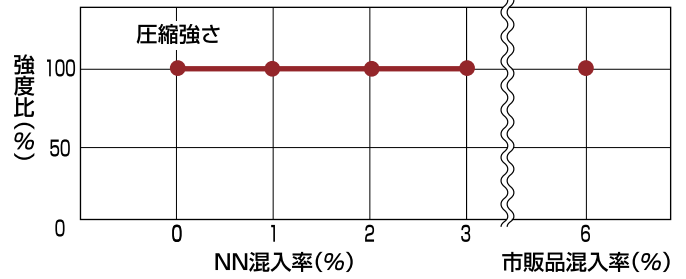
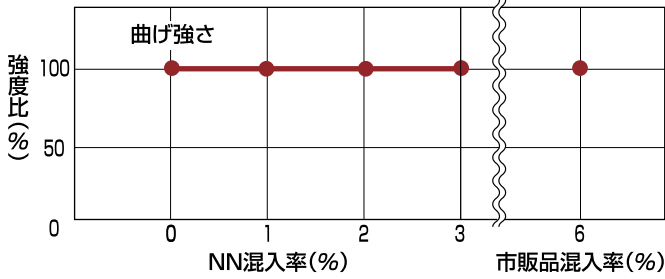
- ① 配合決定は必ず試験練りで品質の確認をしてください。
- ② 所定量を、単位水量の一部として使用して下さい。

### 使用量

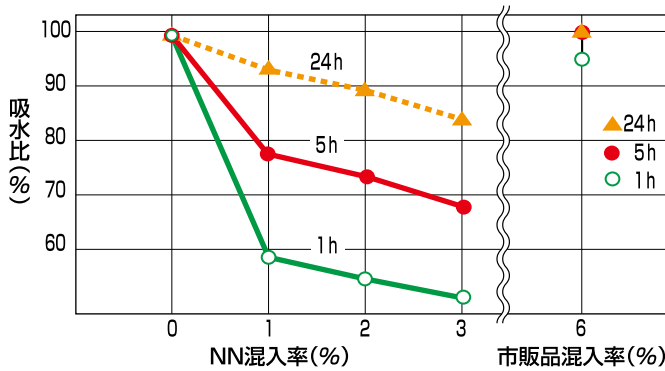
- ① コンクリート躯体防水  
コンクリート1m<sup>3</sup>あたり4.5kg (または4.6 $\ell$ )
- ② モルタルの防水  
使用セメント量の1~3%
- ③ 防水ブロック  
使用セメント量の2~4%  
(3%を基準にして防水性能試験によって使用量を決めてください)
- ④ モルタル注入工法  
使用セメント量の3%
- ⑤ セメント二次製品の防水、白華防止  
使用セメント量の2~6% (製品の密度によって使用量は変わります)

モルタル試験 (試験方法はJIS A 1404, JIS R 5201)

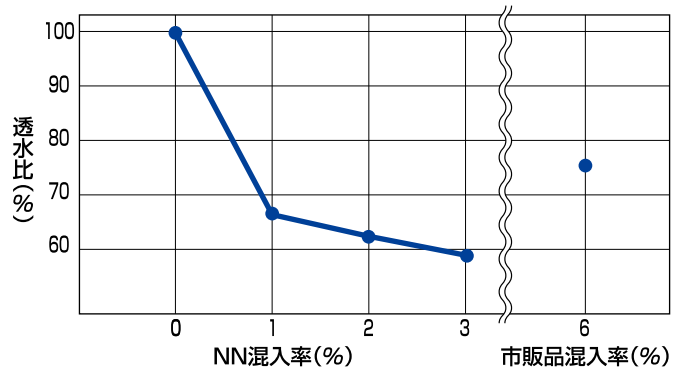
●強度試験 (材齢28日)



●吸水試験 材齢28日



●透水試験 材齢28日



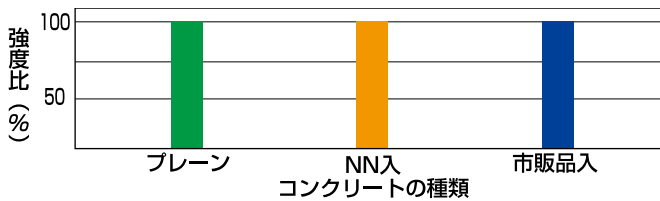
コンクリート試験

●配合

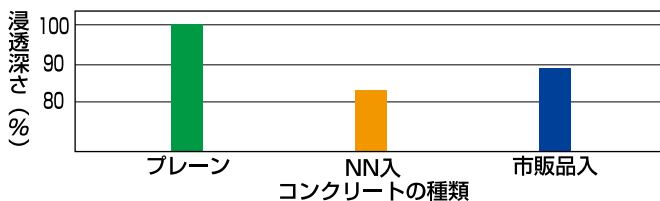
種類	骨材の最大寸法 (mm)	スランブ (cm)	空気量 (%)	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )					
						W	C	S	G	AE減水剤	防水剤
プレーン	20	15	4.5	55	43	178	324	763	1009	0.81	—
NN入	20	15	4.5	55	43	178	324	763	1009	0.81	4.5
市販品入	20	15	4.5	55	43	178	324	744	1009	0.81	19.0

使用材料 セメント：普通ポルトランドセメント 細骨材：密度2.63 F.M.2.80 粗骨材：密度2.63 F.M.7.00

●強度試験 JIS A 1108 (材齢28日)

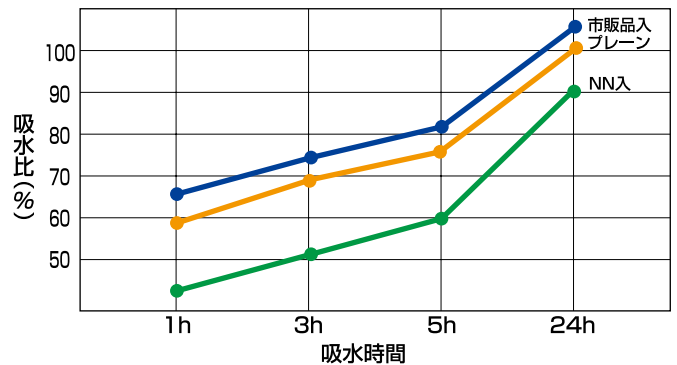


●透水試験



供試体 (φ15cm×30cm) は、28日間水中養生後、2週間20℃、55%RHで乾燥。底面のφ10cmの部分を通水試験面として、水圧6kg/cm<sup>2</sup>、14日透水後、割裂により浸透深さ測定。

●吸水試験



供試体 (φ15cm×30cm) は、28日間水中養生後、2週間20℃、55%RHで乾燥。吸水は全浸せき方法で測定。

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226
北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5243
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331

## 使用上の留意事項

- ① 水密性（耐水性）を要求されるコンクリートは、スランブ18cm以下で、水セメント比55%以下が望ましい。
- ② 保管は、0℃以下、40℃以上にならないように、適当な処理を行って下さい。
- ③ その他の点は、減水剤やAE減水剤に準じて取り扱って下さい。
- ④ コンクリートはJISA5308の他仕様書に従って納入、打込み、充分な締め固め（つき、たたき、パイプレーター掛け等）を行って、ジャンカ、豆板、コールドジョイント等を防止してください。
- ⑤ 正規の鉄筋のかぶり厚さを保存するために、配筋が乱れたり、型枠に接触することのないよう注意して下さい。ポンプ打設の場合は特に注意して下さい。
- ⑥ 打継部は水洗いした後、NN混入セメントペースト等を塗り込みコンクリートを打継いで下さい。
- ⑦ 初期材令のコンクリートには所定の強度が発現するまで、振動・衝撃・むりな载荷をあたえないよう注意して下さい。
- ⑧ 型枠工事に使用するセパレーターは木コン付を用い、止水リングを併用して下さい。
- ⑨ 「太平洋NN」を使用したコンクリートでも、出来るだけひびわれの少ない構造物とすることが肝要です。したがって有効な収縮目地の計画や、膨張材（例えば太平洋エクспан）との併用が理想的です。
- ⑩ 打継部は止水板を取付けかつ漏水防水用目地を設定して下さい。

## 安全上の注意事項

本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 使用の際は、眼・鼻・皮膚・及び衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼ください。
- 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄してください。
- 詳細は安全データシート（SDS）をご参照ください。

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。